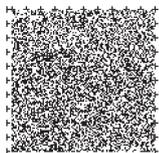


久留米市認知症ケアパス

認知症の進行に合わせて受けられるサービスの流れを
援やサービスが受けられるかを知って、活用してください。

認知症の段階	健康	MCI(軽度認知障害) <small>認知症のように生活に支障はないが、 もの忘れが多くなる認知症の前段階。</small>	認知症(軽度) 誰かの見守りがあれば 日常生活は自立
相談	 地域包括支援センター(13ページ)		介護予防や介護保険サービス、 認知症介護電話 認知症カフェ等(11ページ)、当事者
進行予防や 社会参加	老人クラブ、シルバー人材センターなど(24、25ページ) 元気なうちから、また、認知症になってもできる限り活動を続けていきましょう。 認知症予防講座、ものわすれ予防検診(11ページ) 今の認知機能を測定し、認知症予防に取り組んだり、必要であれば早期受診をしましょう。 介護予防事業、認知症啓発イベント、 介護予防教室の他、様々な講演会や講座に参加するなど		
保健・医療・介護	かかりつけ医 生活習慣病など、持病の管理や認知症について相談できる医療機関をみつけておきましょう。 かかりつけ歯科医 お口のケアと認知症は大きく関係しています。 かかりつけ薬局 相談できる薬局・薬剤師を見つけておきましょう。 健康診断・歯科健診 認知症初期集中支援チーム 介護保険サービス		
生活支援や 見守り	SOSネットワーク、あんしん登録、 シルバー人材センター、		



「認知症ケアパス」と呼びます。いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために、いつ、どこで、どのような支

認知症(中等度)

日常生活を送るには
支援や介護が必要

認知症(重度)

常に専門医療や介護が必要

虐待防止、権利擁護など高齢者に関することは、何でも相談できます。

居宅介護支援事業者のケアマネジャー(12ページ)

相談(11ページ)、福岡県若年性認知症サポートセンター、若年性認知症コールセンター(13ページ)

の会(19ページ) 久留米地区認知症の人と家族の会(NPO法人にこここ会)

認知症サポーター養成講座(11ページ)

して、認知症や介護予防について知識を深めておきましょう。

※かかりつけ医がない場合は、**認知症に関する相談等ができる医療機関(30ページ)**を参照ください。

受診が難しい場合は、訪問診療など
かかりつけ医・歯科医等にご相談ください。

(11ページ) 認知症が疑われるが、サービスを利用していない方等を対象に一定期間集中的に支援を行います。

(12ページ) 進行予防や家族の負担軽減のために各種サービスを利用しましょう。

久留米市行方不明高齢者等位置情報検索サービス利用補助金など(14ページ)

日常生活自立支援事業(15ページ) >> 成年後見制度(15ページ)

久留米市消費生活センター(15ページ)

